

「夜道を安心して歩けるまち」を目指している神奈川県寒川町が、設置から10年以上が過ぎたLED防犯灯をリニューアル。より明るく効率の良いLED器具を、10年間の付帯サービス付リース契約で導入し、使用電力削減とコスト低減、CO<sub>2</sub>削減による環境負荷軽減、維持管理の効率化などを進めました。

神奈川県ほぼ中央、湘南地域の北部に位置する寒川町は、相模國一之宮「寒川神社」があることで知られています。13.42km<sup>2</sup>の広さの町域に5万人弱が暮らし、東京や横浜といった都会へのアクセスが良く、さらには豊かな自然と歴史的な魅力を持っています。安全なまちづくりへの取り組みとして、防犯アドバイザーの配置など防犯対策の強化を積極的に行い、LED防犯灯の整備もその一環として進められています。



【 物件概要 】  
事業名：寒川町LED防犯灯更新付帯サービス付きリース事業  
所在地：神奈川県寒川町  
施主：寒川町役場 町民安全課 防犯・交通安全担当  
施工：電気／関電工



町民の安心・安全を確保するため、老朽化した3,614灯のLED防犯灯を最新器具にリニューアル。

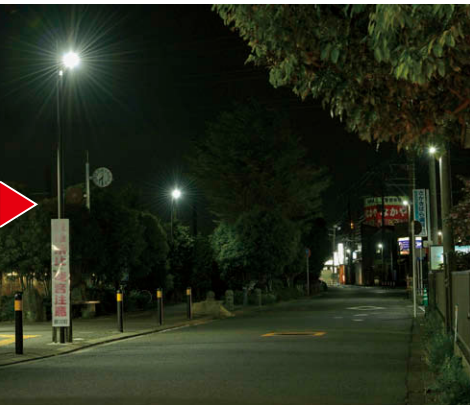
2018年より地域ブランドスローガンとして『「高座」のころ。』を掲げ、町の魅力を表現・発信している寒川町。その理念を日常の中で実践するため、現在「ころ。を灯す」をキャッチフレーズとした「夜道を安心して歩けるまち」を目指した活動が展開されていますが、寒川町ではそれ以前から防犯灯の設置に力を入れ、2014年10月には町内全域の約3,200灯の防犯灯をLED化しています。

今回の照明リニューアルは、LED化から10年が経過して器具の老朽化が進んでいたことから、直近3年間に設置された器具以外の3,614灯

を更新。維持管理業務も合わせた「寒川町LED防犯灯更新付帯サービス付きリース事業」として実施されました。

採用された器具は、優良防犯機器（RBSS）認定品、定格寿命60,000時間以上、保護等級IP44以上、雷サージ機能付、照度基準クラスB+といったさまざまな要件を満たした仕様のLED防犯灯で、既設器具に比べて使用電力およびCO<sub>2</sub>排出量の削減が進み、管理コストの抑制にも貢献。寒川町が長期的な視点で進める「町民が安全で安心して暮らせるまちづくり」の目に見える成果の一つとして、明るく夜道を照らしています。

寒川町立南小学校脇道路の照明風景  
定格消費電力6.6Wで設置間隔19m（クラスB+）を実現したLED防犯灯❶を小学校側に配置  
ムダな点灯がない照度センサー内蔵タイプ



JR寒川駅南口付近の照明風景（消灯時/点灯時） 駅南口前から東南方向を望む



一之宮愛児園グラウンド前の照明風景（消灯時/点灯時） LED防犯灯❶を電柱に片側配置



JR寒川駅南口自転車等駐車場付近の照明風景（消灯時/点灯時） 駐輪場前から北西方向を望む



LED防犯灯7VA耐塩形❶（消灯時/点灯時）

主な掲載器具一覧		器 具 名（品種名）	形 名	台数	備考
設置場所					
寒川町内全域	❶ LED 防犯灯 7VA 耐塩形		LEDK-78928NP-LS1	3,612	消費電力:6.6W
	❷ LED 防犯灯 9VA 耐塩形		LEDK-78930NP-LS1	2	消費電力:9.2W